学校整理番号	２０３

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	精選国語総合　新訂版（大修館書店）						
副教材等	新常用漢字必携　パーフェクトクリア（尚文出版） 新訂　総合国語便覧（第一学習社） 読解を大切にする体系古典文法　九訂版（数研出版） 読解を大切にする体系古典文法準拠ノート（数研出版） 読んで見て覚える　重要古文単語３１５　三訂版（桐原書店）						

１ 担当者からのメッセージ

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけることを心がけましょう。
・１年生の「国語総合」は「現代文」と「古典」に授業が分かれており、それぞれ担当者が異なります。勉強の進め方、ノートの取り方などはそれぞれ担当者の指示に従ってください。
・評論や小説などの様々な文章を「読む能力」、自分の意見を適切に「書く能力」「話す能力」、言語文化に対する「知識・理解」を授業を通して身につけましょう。
・予習として必ず教科書本文を読んでおきましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。

２．学習の到達目標

・目的や場に応じて適切な語句を用いて自分の考えを表現することができる。（書く能力）（話す・聞く能力）
・他者の思いや考えを的確に聞き取り、相手の立場に立って物事を考えることができる。（話す・聞く能力）
・論理的文章や文学作品の内容を的確に読み取り、自分の考えを深めることができる。（読む能力）
・国語や言語文化に対する関心を持ち、自身の言語能力を高めようとする意欲がある。（関心・意欲・態度）
・伝統的な言語文化や言葉の特徴、漢字などの知識を身につけている。（知識・理解）

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ．関心・意欲・態度	ｂ．話す・聞く能力	ｃ．書く能力	ｄ．読む能力	ｅ．知識・理解
観点の要旨	国語を伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する生徒の関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じて適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート・ワークシート等）	・行動の観察 （発表やグループワーク等）	・記述の確認及び分析 （ワークシート、作文等）	・記述の確認及び分析 （ワークシート） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認 （ノート、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の主な評価基準	主な評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随筆を読む	【近代以降】 教材： 「挑戦」	○			◎	○	a 文章に書かれている作者の考え方を読み取ろうと試みている。 d 文章の構成を理解し、筆者の考え方を正しく読み取っている。 e 文中の語句の意味について理解する。	a 行動の観察及び記述の点検 d、e 記述の確認及び定期考査
	評論の内容を理解する①	【近代以降】 教材： 「水の東西」	○		○	◎	○	a 文章の内容を理解し、筆者の主張を読み取ろうとしている。 c 筆者の意見に対し、考えたことを文章にできる。 d 文章の構成や展開を理解し、文意を正確に読み取ることができる。 e 文中の言葉や表現を正しく理解し、自分の語彙として身に付けている。	a、c 行動の観察及び記述の点検 d 記述の確認と分析及び定期考査 e 小テスト及び定期考査
	小説の内容を理解する①	【近代以降】 教材： 「羅生門」	○			◎	○	a 人物の行動や性格から心情を読み取ろうとしている。 d 登場人物の心情を読み取ることができる。 e 時代背景や筆者について理解できる。	a 行動の観察及び記述の点検 d、e 記述の確認及び定期考査
	詩の音楽性とイメージを感じ取る	【近代以降】 教材： 「甃のうへ」 「一つのメルヘン」 「自分の感受性くらい」	○		○	○	◎	a 詩の音楽性やイメージを感じ取ろうとしている。 c 詩を創作することができる。 d 詩の音楽性やリズムを感じ取り、詩の主題を理解することができる。 e 詩の技法について知識を身につけることができる。	a 行動の観察及び記述の点検 c 創作した詩の評価 d、e 記述の確認及び定期考査
	古典入門	【古典】 教材： 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 『伊勢物語』 「芥川」 『徒然草』 「これも仁和寺の法師」 文法等・・・用言の活用	○			◎	○	a 古典の導入にあたり、現代語と古文の違いや学ぶことの意味を理解しようとしている。 d 文章に描かれている情景を、文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手がかりとしている。 e 古文を聴き、また自ら音読し、現代語と異なる点、また類似点に気づく。 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身に付けている。	a 行動の観察及び記述の点検 d 記述の確認及び定期考査 e 行動の観察、小テスト及び定期考査

2学期	スピーチを行う。	【近代以降】 （スピーチを通して、互いの考えを深めながら、話し方聞き方について学ぶ） 教材： 「お薦めの本を紹介しよう」	○	◎	○		○	a 自分の考えを理解してもらうために表現を工夫し、聞きやすい速度や声量・話し方でスピーチを行おうと試みている。 b 自分の考えを理解してもらうために表現を工夫している。 c 聞きやすい速度や声量・話し方でスピーチを行っている。また人のスピーチを傾聴し、速度・音量・内容について積極的に評価活動を行っている。 e 話すこと、聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、c、e 行動の観察と確認及び分析
	評論の内容を理解する②	【近代以降】 教材： 「自然と人間の関係をとおして考える」 「空気を読む」	○		○	◎	○	a 文化や環境問題について興味をもつことができる。 c 文化や環境問題に対して、自己の意見をもち、それを文章化することができている。 d 文章の構成や展開を理解し、文意を正確に読み取ることができている。 e 文中の言葉や表現を正しく理解し、自分の語彙として身に付けている。評論を読解するのに必要な接続詞や表現法を知り、対比関係をおさえることができている。	a、c 行動の観察及び記述の点検 d 記述の確認と分析及び定期考査 e 小テスト及び定期考査
	小説の内容を理解する②	【近代以降】 教材： 「城の崎にて」	○	○		◎	○	a 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気づこうとしている。 b グループワークを通して、自分の意見を述べ、他者の意見を通して考察することができる。 d 文中の語句がどのような働きをしているのか理解し、話の展開や登場人物の心情を推測することができる。 e 時代に応じた語句を理解できる。作者についての知識を深めることができている。	a、b 行動の観察及び記述の点検。 d、e 記述の確認及び定期考査
	短歌文学を味わい、創作する。	【近代以降】 教材：教科書に掲載された俳句と短歌	○	○	◎	◎	○	a 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気づこうとしている。 b 音韻の美しさや余情を理解して、音読・暗誦することができる。 c 情景や心情の描写を取り入れ、効果的な語句を用いて独創性の高い短歌を創作している。 d 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気づこうとしている。 e 文章の形態や文体の特色について理解している。	a 行動の観察及び記述の点検 b 行動の点検 c 記述の確認 d 記述の確認、及び定期考査 e 小テスト及び定期考査

	古文を読む。	【古典】 教材： 『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」 『平家物語』 「木曾の最期」 文法等・・・用言の活用、助動詞の活用	○			◎	○	a 古文の名作にふれ、古人の思想、感性、時代背景を理解し、鑑賞しようとしている。 d 文章に描かれている情景を、文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手がかりとしている。 e 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身に付けている。	a 行動の観察及び記述の点検 d 記述の確認及び定期考査 e 小テスト及び定期考査
	漢文入門	【古典】 教材： 「訓読に親しむ」 句法等…訓点、再読文字	○			◎	○	a わが国の言語文化が、中国をはじめとする外国の文化の受容とその独自化により築かれていることに気づこうとしている。 d 漢文の文章構成や読み方のルールを的確に捉えている。 e 漢文を読むことに役立つ、訓読の決まりを身に付けている。	a 行動の観察及び記述の点検 d 記述の確認及び定期考査 e 小テスト及び定期考査
	漢文を読む	【古典】 教材： 「漁父之利」 「朝三暮四」	○			◎	○	a 中国の文学作品についての興味・関心を深め、学ぶことの意味を理解しようとしている。 d 文章の筋道を的確に捉え、日本の言語文化に根付いている四字熟語の語源や内容を理解している。 e 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a 行動の観察及び記述の点検 d 記述の確認及び定期考査 e 小テスト及び定期考査
3 学 期	評論の内容を理解する③	【近代以降】 教材： 「言葉についての新しい認識」	○		○	◎	○	a 文章の内容を理解し、筆者の主張を読み取ろうとしている。 c 筆者の意見に対し、考えたことを文章にできる。 d 文章の構成や展開を理解し、文意を正確に読み取ることができる。 e 文中の言葉や表現を正しく理解し、自分の語彙として身に付けている。	a、c 行動の観察及び記述の点検 d 記述の確認と分析及び定期考査 e 小テスト及び定期考査
	小説の内容を理解する③	教材： 「良識派」	○			◎	○	a 人物の行動や性格から心情を読み取ろうとしている。 d 登場人物の心情を読み取ることができる。 e 文中の言葉や表現を正しく理解し、自分の語彙として身に付けている。	a 行動の観察及び記述の点検 d、e 記述の確認及び定期考査
	古文を読む	【古典】 教材： 『伊勢物語』 「筒井筒」 『土佐日記』 「門出」 文法等・・・助動詞の活用	○			◎	○	a 文章に描かれている情景を、文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手がかりとしようとしている。 d 歌物語、紀行文について理解し、文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手がかりとしている。 e 平安や鎌倉、江戸と時代の変化に伴い、文章がどう異なるか気づくことができる。	a 行動の観察及び記述の点検 d 記述の確認及び定期考査 e 小テスト及び定期考査